



分科会2

A型における就労支援を考える～中間的就労の試み

株式会社ラダーサポート

就労継続支援A型 ラダーサポート

管理者兼サービス管理責任者 千葉 美穂子





Ladder Support



緑 親会社住所: 札幌市白石区本郷通3丁目南4番11号

黒 事務所住所: 札幌市白石区中央1条6丁目9-1

一日の流れ

定員 15名
ビル 6名
事務 4名

ビルクリーニング ◆施設外◆

08:00 清掃業務

12:00 休憩

13:00 休憩・自習

14:00 プログラム

15:00 後片付け

事務・アウトソーシング ◆施設内◆

09:00 室内業務

12:00 休憩

13:00 室内業務

14:00 プログラム

15:00 後片付け

～ 働く ～

◆ **こんな人が働けます** ◆

- **短い時間じゃないと働けない**
- **一般就労はまだ難しいけど目指したい**
- **働いて給料をしっかりともらいたい**
- **働きながら就職活動がしたい**

～ 働く ～

◆ こんなお仕事をしています ◆

<ビルクリーニング業務(施設外作業)>

親会社より委託を受け清掃業務を行います

<アウトソーシング業務>

企業等より委託を受け、広報誌の作成、
名簿作成、宛名印刷・封入等発送業務、
営業パンフレット作成などを行います

<事務>

個人情報などにはかかわらない
内部の簡単な事務作業を行います

～サポート～

◆こんなお手伝いをします◆

- よい仕事ができやすくなるよう共に考えます。
- 「もっと働きたい」という気持ちを応援します。
- 長く働くためのお手伝いをします。
- 次のステップのために必要なことを一緒に見つけます。
- 生活の場面で困っていることと、これからの生活を、家族を含めて一緒に考えます。

～ 学 ぶ ～

◆生活について学ぶ◆

- ・日常生活を送る上で必要な技能や知識について学びます

◆仕事について学ぶ◆

- ・仕事をする際に必要な技能や知識を学びます

(パソコン講座、ビジネスマナー講座、就職活動訓練等)

◆コミュニケーションについて学ぶ◆

- ・コミュニケーション技能の向上を図ります

(SST・社会生活技能訓練、手話講座、3分間スピーチ等)

◆自分を助ける方法について学ぶ◆

- ・自分を助ける方法(自己理解、社会資源等)を学びます

仕事をして学ぶ・プログラムで学ぶ

◆仕事をして学ぶ◆

毎日の業務の中で、体調管理、挨拶、報告・連絡・相談・提案、与えられた業務を時間内に遂行する等の支援。

◆プログラムで学ぶ◆

4時間の仕事を終え、事務所へ集まり、働く意味、就職活動、働き続けること、社会資源の活用、趣味や興味の幅を広げる、他者との交流や意見交換等を行う時間を無給で開催。

新しい事へチャレンジ！！

◆一般就労に向けて◆

・今までに学んだことを
活かし、関係機関と連携し、
就職活動を応援します。

◆就労後のサポート◆

・就労後も企業と連携し、
働き続けられるよう、サ
ポートします。



事業所としての方針 1

- ・相談支援機関からの紹介が殆どではあるが、ハローワーク、元気さーちからの紹介者には、できるだけ相談支援機関と関わるよう、家族を含めた支援、隙間のない支援をしてもらえる等のメリットを伝え、利用を勧める。

(現在 9名中 6名が利用)

- ・利用者の希望や得意な事、苦手な事を把握し、無理のない範囲で働き始める。(利用開始時のアセスメント、相談支援機関などからの情報提供等)

- ・一般企業で働くために最低限必要な知識、技能を身につくよう助言、支援する。(業務内、プログラム)

事業所としての方針 2

- ・基本は1日4時間、週5日であっても、それまでの生活状況から、週2～4日勤務からはじめ、個別面談や、職業指導員からの日々の働きぶりの報告、その他の職員の巡回時の様子から勤務日数を増やしたり、難しい場合は、他の事業所(B型、就労移行等)を紹介する。
- ・利用者であっても、雇用契約を結んでいるパート職員としての働きぶりを評価基準としている。
- ・事業所内だけの評価ではなく、関係機関の担当者に働いている様子を見てもらったり、ケース会議や、面談の内容を報告し、意見交換を不定期ではあるが行って評価する。

事業所としての支援

- ・障がい特性にあわせた指示。
- ・誰もがわかりやすいマニュアルの作成。
- ・障がい上、できない事への配慮と、他の利用者への説明。
- ・将来を見据え、今できること、覚えておいた方がよい社会的マナー・ビジネスマナー。
- ・体調不良になる前のサインを見逃さない。
- ・悩み事は、どの職員でも対応する。
- ・話やすい環境づくり。
- ・共に働いていることの労いと尊敬の言葉がけと態度。

成 果

- ・働くことで賃金収入を得ることで、生活状況が安定する。
- ・働ける時間、業務内容等、自分の力量がわかり、希望する職種を想像できる。
- ・午後のプログラムでSST、〇分間スピーチ、模擬会社体験、まわし読み新聞、茶話会等で、チームワークや他者を理解する力をつけることで、就職後も職場でのコミュニケーションに自信が持てる。
- ・関係機関がラダーサポートの取組みを評価してくださり、利用者の紹介や、利用中に就職活動について協働していただいている。
- ・業務の拡大を図り、より多くの“働きづらさ”を感じている方々を受け入れたい。

利用者の方の声(退所者含む)

- ・職場では働く者としての報告や連絡、相談ができるようになった。
- ・いろいろな人が居て、いろいろな障がい者も居て、考え方も違う人が居て会社が成り立っていることがわかった。
- ・自分では「こんなこと・・・。」と思うことが他の人も同じ気持ちだと休憩中や、茶話会などで知ることができた。
- ・職場で学んだことはもちろん、プログラムで学んだことが今の職場で活かすことができている。
- ・今までは会社の理解がなく、待遇も悪かった。自分には支援者、理解者がいることで働き続けることができるとわかった。

退所の理由

- 4時間の勤務には耐えられない。
 - 昼夜逆転しているなので、午前中の勤務はできない。
 - 他の利用者と折り合いが悪い。
 - 1年間、休まず通ったので、辞める。
 - 業務内容が自分の力量にあっていない。
 - 最低賃金しかもらえないので、辞める。
 - もっと長い時間働きたいので、辞める。
 - 病状が悪化したので、辞める。
-
- 就活の結果、合格した。
 - 結婚準備のため、辞める。
 - 就活にじっくり時間をかけたいので辞める。